

～おいしい水を いつも いつまでも すべての人へ～

## かぶとやま 甲山幹線とは？

甲山浄水場で作った水を、網干までの広いエリアに配水している、全長12.6kmの重要な水道管です。

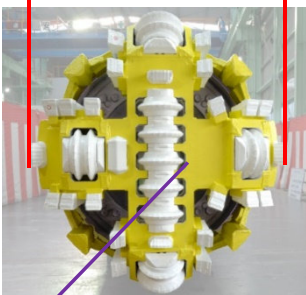
甲山浄水場は、姫路市でつくられる水の約半分を担っている重要な浄水場です。

## なぜこんな工事をするの？

甲山幹線が作られてから40年以上たち、地震がおきても、安全に水道が使えるように、地震に強い水道管にリニューアルする工事を行っています。

## どんな機械で工事するの？

直径 1.4m

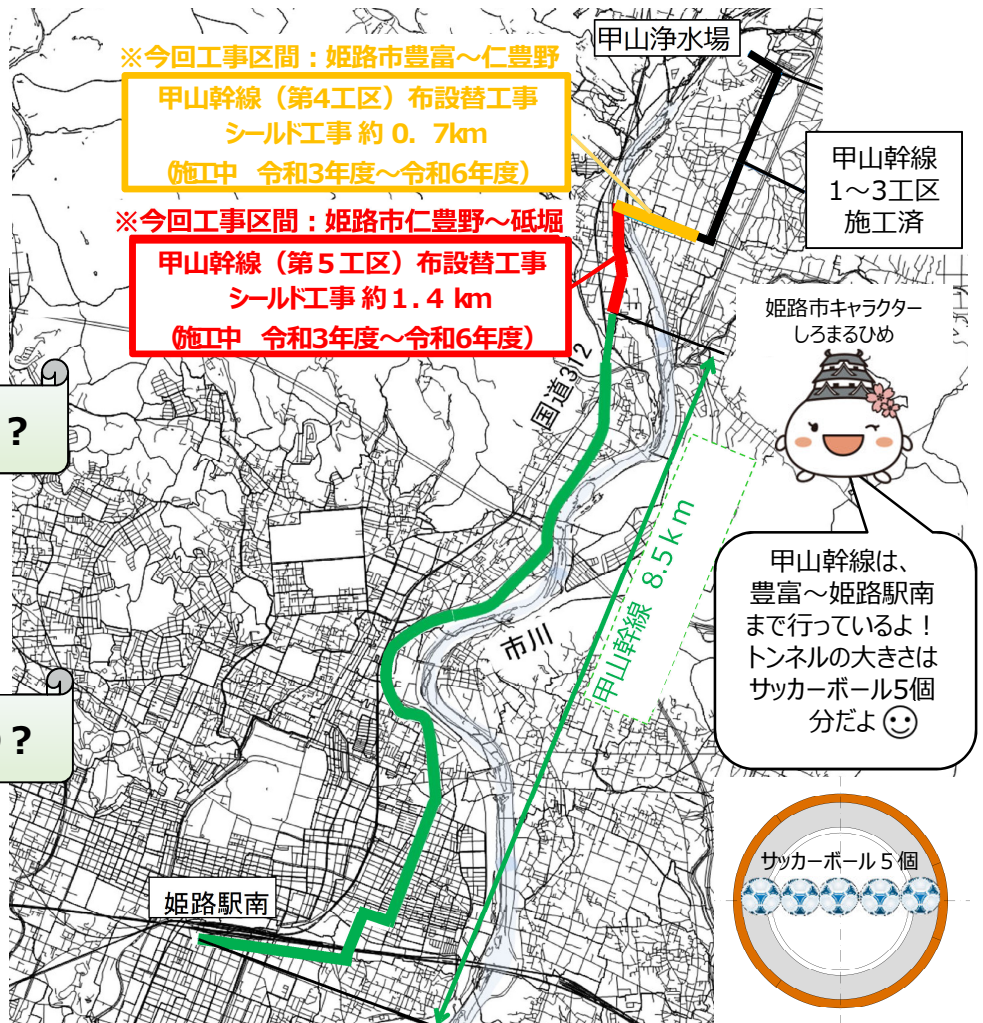


シールドマシン前面

白色の刃で土砂を削ります



セグメント



※今回工事区間：姫路市豊富～仁豊野

甲山幹線（第4工区）布設替工事  
シールド工事約 0.7km  
(施工中 令和3年度～令和6年度)

※今回工事区間：姫路市仁豊野～砥堀

甲山幹線（第5工区）布設替工事  
シールド工事約 1.4 km  
(施工中 令和3年度～令和6年度)

甲山幹線  
1～3工区  
施工済

姫路市キャラクター  
しろまるひめ

甲山幹線は、豊富～姫路駅南まで行っているよ！トンネルの大きさはサッカーボール5個分だよ😊

サッカーボール5個

今回の工事で使用するシールドマシン全体



トンネルを掘る機械「シールドマシン」で、土の中をモグラのようにゆっくりと掘り進みトンネルを作ります。「シールドマシン」は、前面にある刃で土砂を削りながら、前に進みます。掘った部分がくずれてこないように、「シールドマシン」の後ろに、「セグメント」という鉄製のブロックを組み立てて、トンネルを作っていきます。

### 【しろまるひめの豆知識】

シールドトンネル工法の歴史は、ロンドンのテムズ河にトンネルをつくらうとした時に「フナクイムシ」が、船に穴をあけて住み着く際に掘った穴を塗り固めて一種のトンネルをつくっていることにヒントを得て考案された工法です。日本では106年前の1917年に秋田県の鉄道トンネルで初めて採用されています。いまでは鉄道トンネル（JR,地下鉄等）、道路トンネル、上下水道等の多くの工事に採用されています。